

全日畜だより 第51号(2022年6月17日発行)ダイジェスト

一般社団法人 全日本畜産経営者協会 事務局執筆

はじめに一般社団法人 全日本畜産経営者協会発行の全日畜だよりダイジェストをご紹介します。

第14回定時社員総会報告

◎開催日時：令和4年6月16日

◎新型コロナウイルス感染症の感染状況や、当協会の社員の皆様（生産者）の現状を勘案した結果、本年の定時社員総会も書面での総会となりました。

◎議案は、**令和3年度の事業報告、決算、令和4年度の事業計画、収支予算、会費**で、社員全員の同意を得て、承認されました。

事業報告、決算、事業計画、予算の概要

◎令和3年度事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症まん延の中で、秋の小康状態期間を捉えてJRA畜産振興事業、alic調査事業などを実施し、ほぼ計画どおりの事業執行ができました。

◎令和3年度の決算報告

一般会計は令和2年度と比べ、現地調査等が可能な場合が多くなったため、徐々に対面での活動が増加するとともに、サイバーセキュリティの強化などを行い、一方で、日本飼料工業会のご配慮で事務所を工業会事務所内の一角に移転するなどしたことが、決算に反映されました。

特別会計は、JRA事業、alic事業ともに計画どおり予算が執行されました。

監事監査は5月17日に終了し、適正に処理されていると確認いただきました。

◎令和4年度の事業計画

今年度はwithコロナの時代に合わせて臨機応変に対応し、感染防止対策を十分に取しながら、Web会議方式などを併用し、商系畜産経営者への支援を基本として全日畜活動を徐々にコロナ以前に戻して事業を進めることとしました。畜産振興事業では、新たにJRA畜産振興事業の「多角化による畜産経営強化調査事業」を実施し、「農畜連携による畜産経営の強化事業」とともに生産者に有用な情報を提供すべく取り組むことといたしました。

また、要請事業、広報事業、地方全日畜、全日基、各県基金協会との連携も前年同様に取り組むこととしました。また、工業会との連携については、昨年から工業会が実施している研修事業のパネルディスカッションに今後共催し

ていくこととしました。

◎会費についても**令和3年度と同様**になりました。

令和4年度 第1回理事会を開催

◎開催日時：令和4年5月18日（水）

（13：30～14：55）

◎主な内容は、**令和3年度の事業報告、決算、令和4年度の事業計画、収支予算、会員の会費**など、第14回定時社員総会議案の審議と、今年度の運営委員の任命等でした。

◎概要 令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算、会員の会費などは、総会資料と同様で、それぞれ承認されました。また、令和4年度の運営委員会委員についても承認されました。

◎理事意見 現場の生産者に全日畜の活動が十分伝わっているのかどうかわかりにくい。ホームページなどの閲覧件数も多いとは言えない。新型コロナにより、まだ、対面の活動が十分できない中で、もっと、全日畜からの情報を会員に確実に伝え、会員の意見が国会や行政府に伝わるような工夫が今後必要であるとの意見が複数の理事から出ました。

これに対しては、まず、ホームページを見やすくし、ホームページ上で探しにくくなっている各事業で出した手引きやマニュアル等が検索しやすく出来るようにホームページの改良を行っています。

令和4年度 第1回運営委員会を開催

◎開催日時：令和4年5月11日（水）

（13：30～14：30）

◎主な内容は、**令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算**など第14回定時社員総会議案の審議でした。

◎概要 第14回の定時社員総会議案については、令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算など特に異論なくそれぞれ承認され、理事会に掛けることになりました。

【全日畜からの要請について】

令和4年4月11日に農林水産省畜産局会議室で全日畜金子理事長他理事2名にて畜産生産者の声を農林水産省幹部に伝え、「原油価格物価高騰等総合緊急対策」への反映を要請しました！